

ミニギャラリー

今月の題字



熊野高等学校 3年生
立本 亜希さん

町の人口と世帯数

平成17年11月30日
(前年同月比較)
人口：26,015人 (-84)
男：12,635人 (-73)
女：13,380人 (-11)
世帯数：10,058世帯(+104)

熊野高等学校 2年 小川 亜衣

題名 「平和×広島」

第33回広島県高等学校デザインコンクール平和デザイン賞受賞作



【評】 平和への思いをアクリルガッシュの具の特質を生かした技法と、染めた和紙で作った折り鶴で構成に気を配りながら高校生らしく表現しています。

熊野高等学校 3年 渡邊 友恵

題名 「魏霊蔵造像記」

【評】 「魏霊蔵造像記」を臨書したものです。重厚で横画、



右払いに勢いがあり、気迫のこもった力作です。

熊野の自然 (196)

アカマツ

(マツ科)



お正月、門松などに松は欠かせません。濃い緑色の葉や勢いのある枝葉が好まれるのでしょうか。

熊野町で人々が住み始めた氷期にはブナ、ミズナラなどの落葉広葉樹林。温暖な気候になるとシイ、タブノキなどの常緑広葉樹林となり、森林を開墾し農耕生活が始まると、アカマツやコナラなどの二次林へ移行したと考えられています。日当たりを好み乾燥に強いマツは、まっ先に侵入してくる先駆樹です。アカマツは日本で一番多い木です。なかでも広島県は全国で最もアカマツ林の面積が広く、熊野町でも山林の約80%を占めています。赤松は名の通り、樹皮や冬芽が赤褐色です。主に海岸に生え剛壮な黒松に比べ、葉がやや細くて軟らかく、県内では広くオナ

ゴマツと呼ばれています。4〜5月、枝先に園芸上「みどり」と呼ばれる長枝が伸びます。その下部に黄褐色の雄花が多数つき、先端に紅紫色の雌花が2〜3個つきます。長枝にはごく短い短枝がつき、葉が2本ずつついています。

松ぼっくりは1年目は小さく、翌年の秋に成熟します。雨の日には閉じ、乾燥した日に開いて種を飛ばします。種には薄い翼があり風に乗って運ばれます。着地した所が湿っていると、翼は種からはずれます。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

毛筆・こうひつ生徒募集

- ☆こども習字 芸術書道
- ☆おとなの手習い (筆の持ち方・運筆)
- ☆実用書 (のし・はがき・短冊) ペン字

庄賀地バス停徒歩2分 tel 090-2868-5370

【広告】 若葉書道会 馬上尋花

事業者のみなさん 広告掲載を募集中!

2号広告 (縦4.5cm×横8.6cm)
ページ下1段の2分の1相当

- ・カラー(裏表紙)：20,000円
- ・白黒 (P16~19)：10,000円

詳しくは、企画課情報推進係まで
TEL 820-5602

「熊野町の火災と救急」については、「生活だより」(P17)の欄外へ掲載しています。



「広報くまの」は再生紙に「ソイシル」の認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。